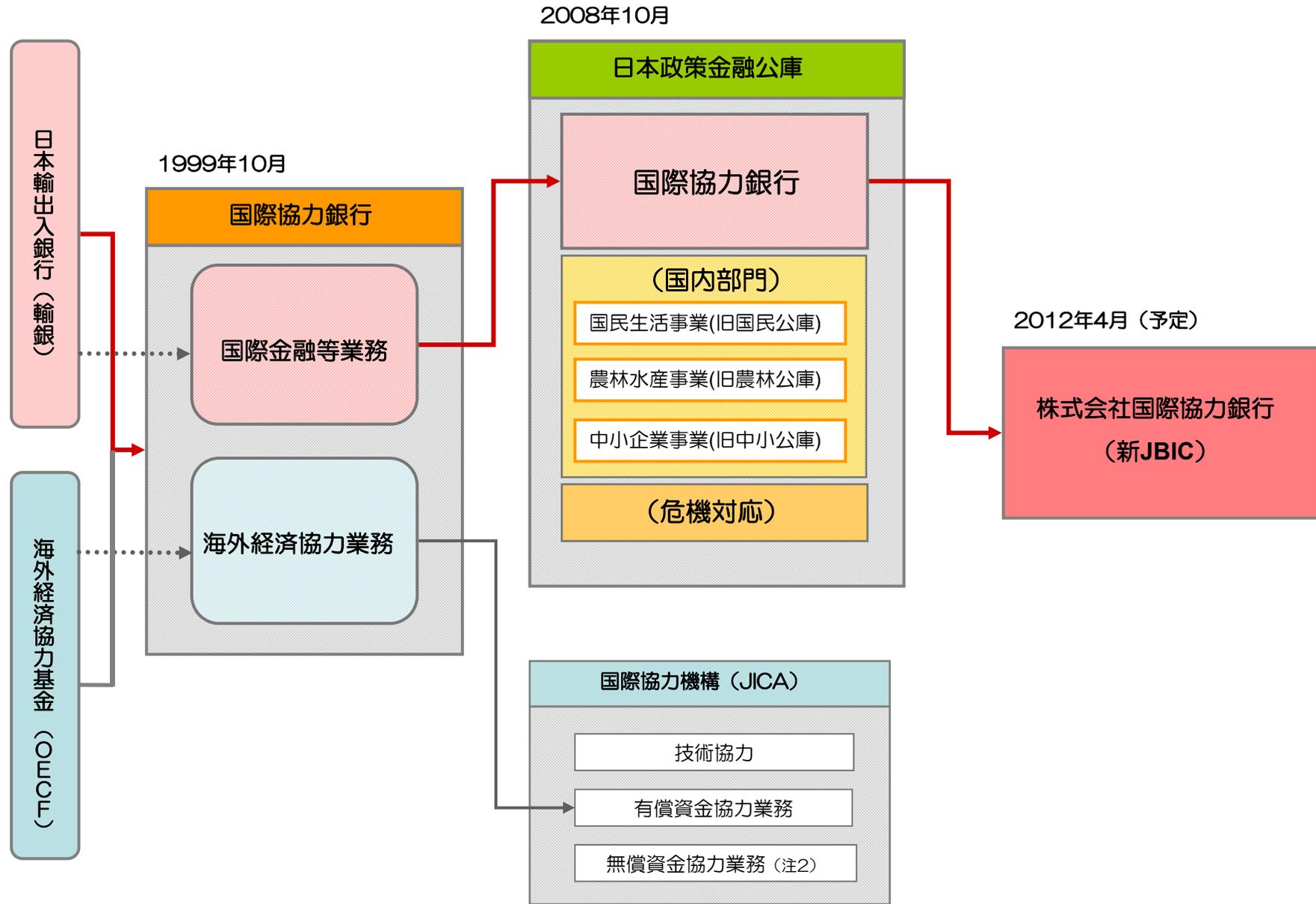


国際インフラ事業における日本企業の経験と成果
及び
鉄道セクターでのPPP組成に向けた課題

2011年8月1日



1-1 国際協力銀行（JBIC）の概要（組織再編の概要）



(注2) 外交政策上の必要から外務省が引き続き実施するものを除く

国内マーケットの飽和、旺盛な海外インフラ需要、総合的提案の必要性

↓
世界最高レベルの日本の環境・省エネや安全・安心の技術経験を集約し、「ワンボイス・ワンパッケージ」でインフラ分野の民間企業の取り組みを強力に支援するための枠組みを整備し、官民連携によりインフラ分野での海外展開を推進する。

パッケージ型インフラ海外展開にあたり政府に期待される主な役割

情報収集

コンソーシアム
形成支援

トップセールス

政策対話

ファイナンス支援

標準化支援等

今後JBICに求められる役割

案件形成初期段階からの能動的な関与

- **ホスト国との対話**を通じた働きかけ
- 魅力的なファイナンス・パッケージの提案のため**調査業務の活用**
- 日本企業が参入するインフラ事業への**機動的なファイナンス**のオファーを通じ、**コンソーシアム形成を支援**

ホスト国政府
との対話

事業化へ
向けた調査

入札実施

事業権獲得
商談受注

従来からJBICが取り組んできた分野

事業者立案のビジネスプランに基づきファイナンスを供与

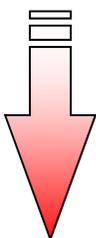
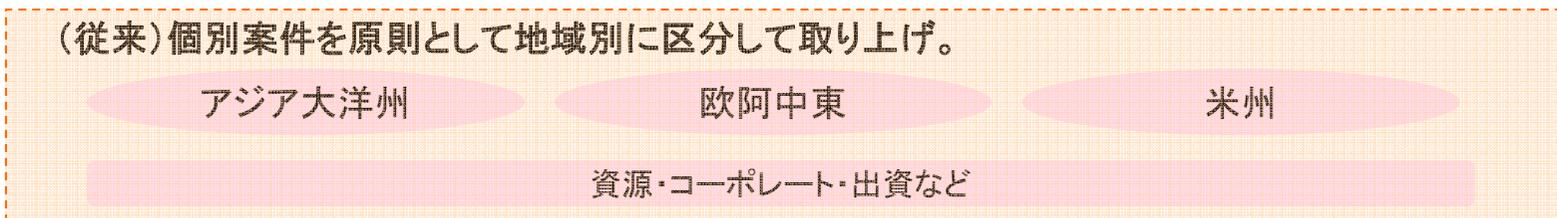
案件審査
契約交渉

- 継続的対政府関係維持
- 債務持続性維持への支援

融資組成

ファイナンス
供与

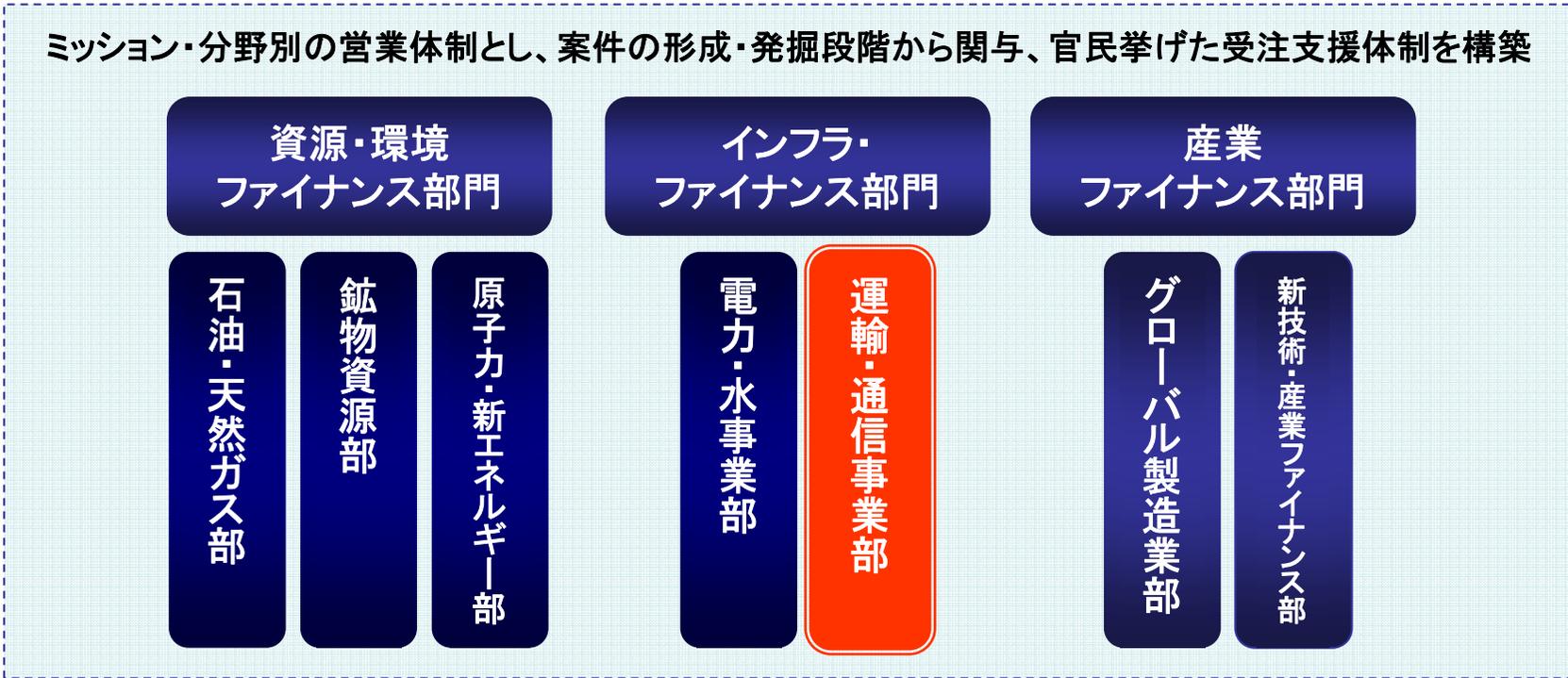
案件管理



地域別からミッション・分野別の営業体制へ(2011年7月～)

JBICミッションに応じた分野・セクターを担当部門に専担させることにより、

- 我が国政策に直結する各ミッションを、機動的・戦略的に遂行する体制を確立
- 各分野・セクターのノウハウ・専門性を集約化し、より高度な案件組成能力を実現



2. 日本企業による途上国インフラ・ビジネスの変遷と特徴

・日本企業が関与してきた途上国インフラ・ビジネスの特徴

電力：1990年代以降、総合商社を中心に、投資事業（スポンサー）としてIPP事業へ参画。

かかる背景には、総合商社のEPCビジネスでの経験等に加え、民間企業の参入を容易にするIPP、IWPPの法的枠組みの整備が進んだことも大きい。

鉄道：従来は車輌・関連機器の単体輸出が中心。1990年代半ばから総合商社が車輌のリース事業へ参入。2000年代後半からは総合商社による鉄道事業への投資案件（事業運営）も出てきている。

（日本企業による途上国インフラ・ビジネスの変遷）

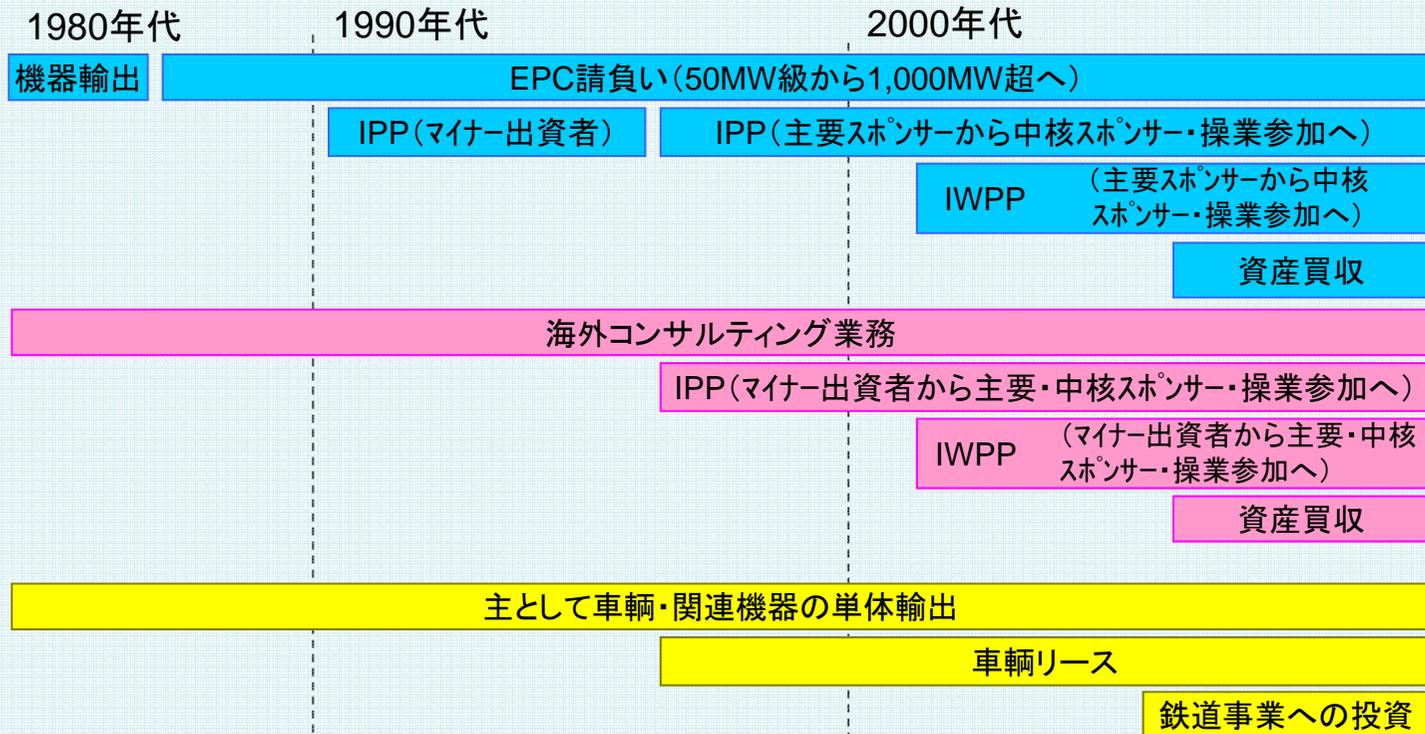
<電力>

総合商社

電力会社
ガス会社

<運輸（鉄道）>

総合商社
メーカー



(注1) IPP: Independent Power Producer。自前で発電設備を建設・運営し、電力を販売する独立系発電事業者のこと。

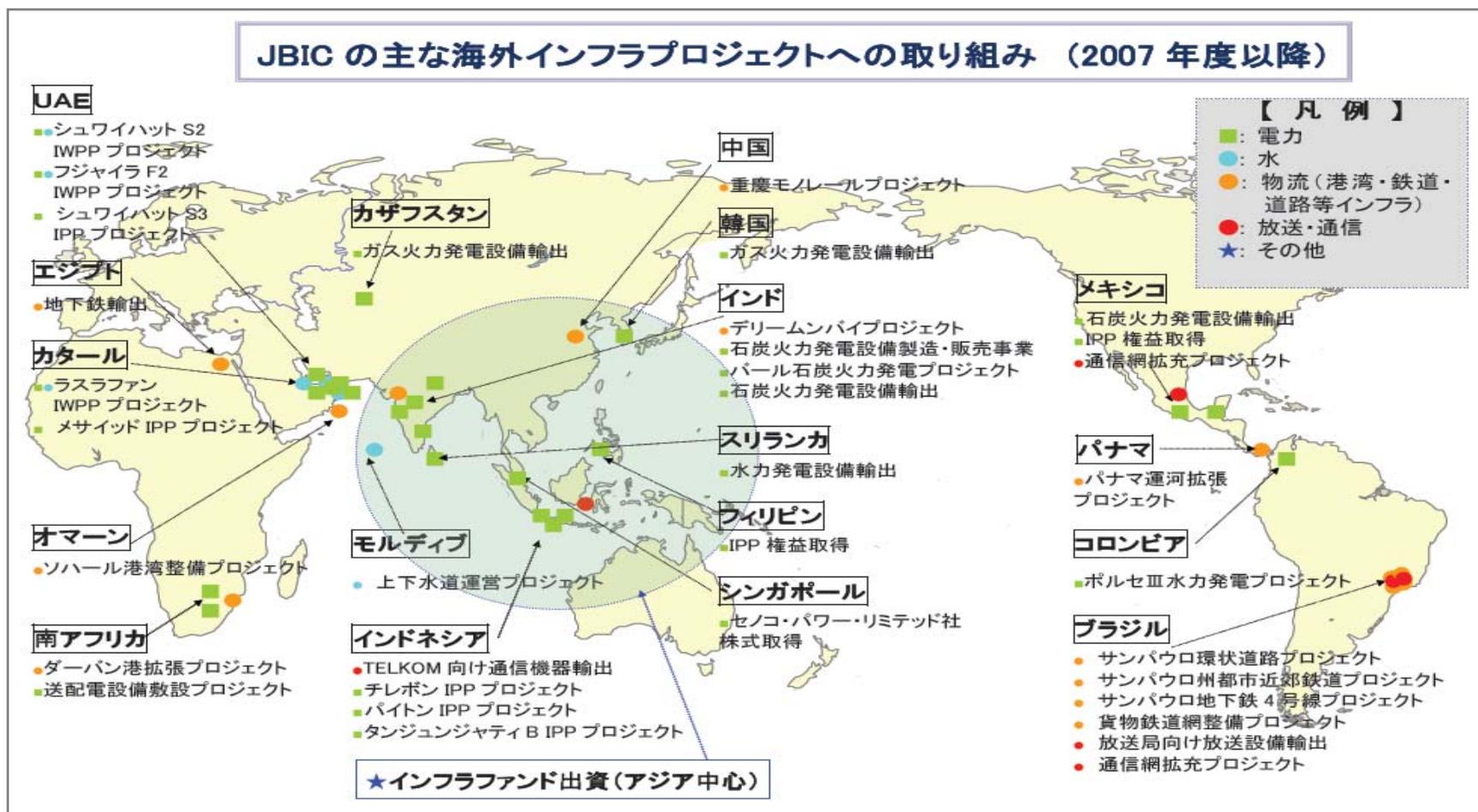
(注2) IWPP: Independent Water and Power Producer。自前で発電・淡水化設備を建設・運営し、電力・水を販売する独立系発電・淡水化事業者のこと。

3. インフラ分野におけるJBICの最近の実績と特徴

・インフラ分野におけるJBICファイナンスの特徴

→前出のとおり、日本企業の海外案件への取組み状況を反映し、日本企業による電力投資事業向け与信が多い。

→その他の分野では、機器等の輸出案件に加え、モルディブでの上下水道運営事業やブラジルでの地下鉄運営事業等、日本企業による事業投資案件が拡大しつつある。



全セクターに共通する主要リスク

- ポリティカルリスク
 - 国有化、法制変更、外貨交換・送金制限、当該セクターに関連する政策の変更 等
- マクロ経済リスク
 - 為替、インフレ 等
- フォースマジュール
 - 自然災害 等
- 環境リスク
 - 環境許認可 等

鉄道において特に問題となる主要リスク

- オペレーショナル・リスク・・・①
 - 事故の発生、システム・機材の欠陥 等
- サブソブリン・リスク・・・②
 - 中央政府によるサポート獲得が困難 等
- 収入/需要（Ridership）リスク・・・③
 - 利用者数が想定を下回る 等
- 用地取得リスク・・・④
 - 市街地における用地取得に伴う工事遅延・住民移転対応 等
- 建設・完工リスク・・・⑤
 - 不測の埋設物によるコストオーバーラン・工事遅延 等

鉄道PPPにおける民活のイメージ（上下分離）

<上モノ>

（代表的な事業）

機器の納入

オペレーション

メンテナンス

等

（代表的なリスク）

① オペレーショナル・リスク

② サブソブリン・リスク

③ 収入/需要リスク

等

<下モノ>

（代表的な事業）

土木工事

等

（代表的なリスク）

④ 用地取得リスク

⑤ 建設・完工リスク

等

各主体が分担し適切にリスクをコントロール

事業者

金融機関

（サブソブリン）
現地政府

—まとめ—

（1）上下分離によるリスクの切り分け

- ・ ④ 用地取得リスク
- ・ ⑤ 建設・完工リスク

（2）上モノ事業の採算性の確保

- ・ ① オペレーショナル・リスク
- ・ ② サブソブリン・リスク
- ・ ③ 収入/需要リスク

（3）PPPの正しい理解とコミットメント

- ・ 「PPP」 ≠ 民間側が全てのリスクを負う

（4）案件組成初期段階からの金融機関の関与が必須

